

大阪の福祉を知る

みんなの情報誌

ウェルおおさか

vol.163

2026年8月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

介護の現場で活躍する外国人スタッフ ～受入れが進む中で見えてきたこと～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



介護の現場で活躍する外国人スタッフ

～受入れが進む中で見えてきたこと～



今回の特集では、外国人が日本人とともに活躍する介護現場や、大阪府が進める外国人介護人材を受け入れるための支援事業などを取材し、専門家に話を伺いながら現状の課題と今後の対応策について考えます。

人材不足の深刻化で 受入れ制度を整備

外国人スタッフを受け入れる介護施設は大阪市内でも増加しています。その一方で、受け入れるためには何が必要なのかといった情報に触れていない施設もあり、制度面の周知が課題の一つとなっています。

外国人介護人材の受入れ制度自体は、二国間の経済連携の強化を目的とした「EPA(インドネシア・フィリピン・ベトナムが対象となる経済連携協定)」、留学などによる専門的・技術的分野の外国人受入れを目的とした「在留資格(介護)」、本国への技能移転も

生産年齢人口が減少を続けていて、労働者不足がさまざまな分野で問題になっていますが、介護の分野では、高齢者人口の増加により、介護施設などの利用者が増えていくという課題もあります。その対策として、介護分野でも働き方改革を推進し、厳しいと言われてきた労働環境を改善につなげている施設も多くあります。ただ、政府が介護報酬の見直しなどを行っているものの、他分野の報酬の上昇にはまだ追いついておらず、介護人材が集まりにくい状況です。

そのため、EPA(経済連携協定)、介護分野における「在留資格」や「特定技能1号」での外国人介護人材の受入れを進めています(本文に詳細)。また、本国への技能移転を目的にした「技能実習制度」を介護分野に広げたことで、高齢化が進む日本の最先端の介護技術への世界的評価が高まっています。

目的の一つとなる「技能実習」、人材不足に対応するための一定の専門性・技能を有する外国人の受入れを目的とする「特定技能1号」といった4つの制度が整ってきています。外国人にとって高いハードルではありますが、介護福祉士の資格を取ることで業務が続けられる道も開かれています。

このような制度が整えられてくる中で、外国人介護人材を受け入れようとする介護施設に求められている課題がいくつかあります。

施設の労働環境改善に つなげるチャンス

一つは、その介護施設の労働環境が、外国人介護人材を受け入れられるものになっているかということ。既存の職員の離職率が高い状況のまま、外国人を受け入れても離職につながる可能性が高くなるだけだからです。“せっかく日本で働くなら労働環境の良い職場

で介護に従事したい”と外国人が考えるのは自然なことです。自国で介護を学んできた仲間と、労働環境の良い日本の施設の情報を共有しながら職を探し、就職してからも互いの職場について情報交換して、環境の良い職場に移りたいと考えることもあるでしょう。つまり、外国人から選ばれる施設にならないければ定着につながらないことになります。

事例紹介のページでは、外国人スタッフに必要とされることを聞き取りながら、帰国できるだけの休暇をまとめて取得可能にするという労働環境の改善に努めたことで離職者が減少し、全体の労働負担の軽減にもつながったという介護施設を紹介しています。

今後は、利用者にはもちろん、国内外の介護職をめざす人たちに選ばれる介護施設になることこそが、めざすところなのかもしれません。

● 特定技能制度運用状況

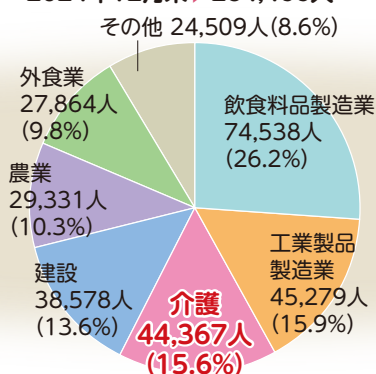
分野別特定技能在留外国人の推移

※数値はすべて速報値

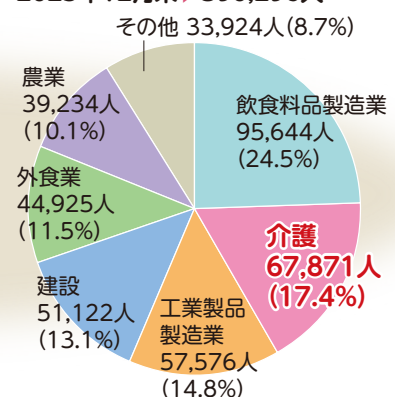


出典:出入国管理庁

2024年12月末 ▶ 284,466人



2025年12月末 ▶ 390,296人



初めての外国人介護人材 受入れのマッチングを支援

少子化と高齢化が進み、生産年齢人口が減少を続ける日本では、さまざまな分野で外国人人材受入れ制度の拡充を進めています。大阪府では「大阪府介護・福祉人材確保戦略2023」を策定し、介護・福祉人材の安定確保と多様化する支援ニーズに対応するための質的な向上に向けた取り組みを進めています。その取り組みの一つとして、外国人介護人材の受入れについては、採用方法やノウハウが分からないといった悩みを抱える事業所向けに、2023年から「大阪府外国人介護人材マッチング支援事業」を実施しています。

この事業を通して、外国人介護人材の受入れ促進のため、事業所とのマッチングやミスマッチ防止に向けた支援を続けてきました。2025年からは、事業所に寄り添った伴走支援が必要だと考え、専門家による施設訪問や現場確認、面接サポート、求人票作成など、きめ細かな対応を行っています。

2026年は企画提案公募により選定

された『公益社団法人WE ARE ASIAN 共同企業体』が、この事業を受託しています。今年から、新たな取り組みとして相談窓口を設置し、外国人介護人材の採用に関する悩みをいつでも気軽に相談できる体制を整えました。

ミスマッチを防ぎ、 就労定着を促進

この支援事業におけるこれまでの成果について、「マッチングの支援では、施設と候補者がしっかり話し合う場を設け、互いの国の文化や候補者の性格を気軽に話せる雰囲気をつくり、施設側の情報も詳しく提供することでミスマッチを防ぐ取り組みを続けていて、定着につながる成果を生んでいると考えています」と達城さんは話します。

今後は、「さらなる就労の定着につながる支援」が課題になってくるとのこ



大阪府福祉部地域福祉推進室
福祉人材・法人指導課 人材確保グループ
課長補佐 内田 眞由美さん(左)
副主査 達城 早苗さん

と。これについて内田さんは、「少しでも長く働いてもらうためには、介護福祉士の資格を取得してもらうことが重要です。特定技能の場合、資格試験に合格しなければ5年で帰国しなければならない制約があります。大阪介護福祉士会が実施している、外国人介護職員向けの研修や、外国人介護人材を受け入れている施設で指導に当たっている職員向け研修への補助などを行っています。さらに何かできることがないか検討を進めているところです」と語りました。

「大阪府外国人介護人材マッチング支援事業」説明会

●参加費／無料

●日程／7月29日(水)、8月20日(木)、
9月29日(火)、11月18日(水)、
1月20日(水)

●時間／各回13:30～15:30

●場所／大阪YMCA会館101号室
(大阪市西区土佐堀1-5-6)

☆外国人雇用について

☆特定技能・インターンシップ受入れ制度について

☆受入れ施設と外国人のマッチング支援(伴走支援)について

☆動画による施設及び外国人との会話レベルや状況について

☆今回のマッチング対象国について

●説明会等に関する問合せ先／

公益社団法人 WE ARE ASIAN

共同企業体

大阪市天王寺区

上本町6-3-31-906

☎06-6776-4525

☎06-6776-4660

✉takano@mko-group.com



マッチング支援事業で『よくある質問』3選

今回の支援事業の受託事業者に、事業を進める中でよく出る質問に回答いただきました。説明会では、外国人介護人材の受入れの際に感じる疑問や不安など、どんなことでも質問できます。WEBでも参加できるこの機会を、お見逃し無く。

①外国人介護人材を受け入れるためには、何が必要でしょうか？

受入れ事業者が外国人介護人材の受入れ制度を正しく理解することです。そして、外国人職員と受け入れる側の職員双方が、お互いの国の文化や風習を情報共有して理解し、気持ちよく過ごせる環境をつくる姿勢が必要です。

②外国人介護人材が安心して働くために事業所が準備しておきたいこと

外国人を指導する施設の職員は、ある程度固定した方が良いです。シフトなどの関係で1人に固定することは難しいかもしれませんが、外国人は言葉や文化の違いから不安を感じやすいため、教育係を固定することで相談しやすくなります。教え方が統一されることで理解もされやすくなります。

③外国人職員から受けた相談で多いのは？

今年度から、本事業において、受入れ事業者等向けの相談対応を実施します。一方、参考までに、私たちが本来業務の中で外国人職員から受ける相談では、税金の仕組みや、職場での人間関係などが多くありました。外国人職員からの相談を受ける際は、状況を正確に把握するため、通訳者を交えて聞き取りを行い、本人が伝えたい内容を的確に施設職員に伝えています。

※回答:外国人介護人材マッチング支援事業受託事業者「公益社団法人 WE ARE ASIAN 共同企業体」

人手不足の不安が大幅に軽減 労働環境改善への意識も向上

《外国人介護スタッフ受入れ事例》

- 人数／12名 ●国籍／ネパール9名、フィリピン2名、ベトナム1名
- ルート／専門学校生、紹介会社、外国人スタッフの紹介など

「当時は、日本人スタッフが集まりにくく、離職率も高かったことで人材不足が喫緊の課題となっていました」と語る上村さん。以前から交流のあった介護福祉士を養成する専門学校の関係者と人材不足について話す中で「外国人留学生をアルバイトとして受け入れてみては」という提案があり、介護スタッフ不足の深刻さを考えて、2017年から外国人留学生の雇用を始めたとのこと。

上村さんは「導入当初は、正直、試行錯誤しました」と話します。初めて“労働”に関わる外国人学生も多く、無断遅刻や無断帰国などの問題が発生。そこで、協力先の専門学校との連携強化を進め、基本的な勤務ルール（遅刻や欠勤の事前連絡、休暇の申請など）を徹底し共有しました。「もともと真面目な人たちが多く、ルールを決めたらしっかりと守るようになりました」「留学ビザで来る学生にとっては、最初は“アルバイトとして介護の仕事を知る機会”にとらえて働いていた人が多いと思います」と当時を振り返ります。

外国人離職率ゼロが、 現場の土台を支える

「大変ありがたいのは、外国人スタッフから離職者が出ないうえ、学生アルバイトから職員になる外国人が多いこと。労働環境を整えてきたことが奏功して

きた面もあるとは思いますが、職員のシフトを組む際の困難や不安が大幅に減りました」と笑顔で語る上村さん。

外国人スタッフの仕事や生活面での悩みなどを解消するために、コミュニケーションを図る機会を設け、気になるスタッフには積極的に声をかけています。また、日本での生活に慣れていない外国人スタッフ2名については、「外国人応援隊」という市民オンブズマンの協力を仰ぎ、月1回1時間半の相談支援を実施。在留カードの更新や結婚手続き、住民票の移動といった生活面でのサポートを行いつつ、日本語での日常会話に慣れる機会として役立てています。

また、聞き取りを行う中で、母国で大地震が起きたり、家族の看取りや葬儀などがあってもすぐには帰れないことが分かりました。そこで職員の休暇制度を、有給休暇との組み合わせで外国人スタッフも休暇を2か月間取得できるように改めました。「仲間意識が高いため2人の外国人スタッフが同時に2か月帰



▲ご飯を食べやすいおにぎりにして食事介助



社会福祉法人 ライフサポート協会
特別養護老人ホーム なごみ
事務長 上村 淳さん

国することもあり、その時はシフト調整で多少焦りますが、他のスタッフで支え合いながら職務を続けることで絆が深まるような気もしています」と上村さん。さらに、「言葉の壁についてはあまり影響がなく、笑顔で一生涯懸命に働き、母国の料理を振る舞う様子などが利用者からは好評を得ています」「日本人スタッフからは、利用者のペースよりも時間通り業務を行うことが優先されているように見えるといった声もありましたが、お互いに話し合う中で理解が深まってきているようです」と、日本人と外国人が互いに尊重し合う環境づくりにも役立っていると語りました。

「2025年4月から、一定の条件を満たした外国人は訪問介護での就労が可能になったことから、結婚や出産で夜勤が難しくなったスタッフの新たな活躍の場になると考え、同じ法人部署の訪問介護分野への参入を予定しています」と上村さん。早速現場でマンツーマンでの研修を重ねるなど、態勢を整えているとのことでした。

職員さんの 声を聞きました！

施設勤務の経験から、次のステップに挑戦！

先進国の日本で、ベトナムで学んでいた看護の分野に近い介護について学びたいと思い来日しました。配膳、食事の介助など、介護福祉士としての仕事全般を担当しています。最初は、日本語を覚えるのに苦労しましたが、親切な職員の方々のサポートを受けながら、利用者さんともスムーズにコミュニケーションを取れるようになってきました。「ありがとう」といった言葉をもらえると、とてもやる気が出ます。資格を取得して自信が付き生活も安定し、子どももいるので、休日は家族でキャンプに出かけるなどリフレッシュしています。

この秋から、訪問介護業務に移ることになり、それに向けた研修を重ねています。これまでとは違った環境になるため、新たな利用者さんとの関わりを大切にして取り組み、できれば訪問介護に必要な資格も勉強していきたいです。



ランティクウェン・トゥさん
(ベトナム出身)
介護福祉士(資格取得2019年)
2016年来日 2018年入職

“人材の補充”などではなく、 “志の高い人”を迎える意識を

井口 健一郎さん

社会福祉法人 小田原福祉会 理事
特別養護老人ホーム 潤生園 施設長

厚生労働省 社会福祉推進事業外国人介護職員指導者養成及びガイドライン等策定委員をはじめ、初期の段階から介護分野での技能実習制度などの教育に携わる。社会保障審議会福祉部会では介護現場の唯一の委員

井口さんは、外国人人材受入れ窓口のひとつである技能実習制度に介護分野が対人援助職として初めて参入した際に、人材育成スキームの構築を手がけられました。「技能実習制度を取り入れた他の分野では、技能実習生が失踪したり雇用面で問題が起きたりして、介護分野の参入には懸念の声がありましたが、私は制度面をしっかりと整えていけば大丈夫だろうと考えていました」と振り返ります。その理由について「看護や介護を自国で学ぶ人は、ケアの心があるということ。アジアの多くの国では大家族で暮らし、高齢の家族への感謝や思いやりの心（養老思想）が育まれている国が多くあります。しかも日本の介護分野に興味を持ち、海を渡って働きに来てくれるわけですから、人のために働きたい人が多いはずです。実際に介護分野での外国人職員の事件やトラブルなどは、他の分野に比べて低いのが現状です」と解説します。

高齢化が進む日本で 最先端の介護を学びたい

現在経済発展が進み、人口が増加しているアジア諸国も今後高齢者が増加することは目に見えています。高齢化が進む日本の介護現場は、介護を学ぶには絶好の場だと理解されており、日本をめざす外国人が多くいます。

そういった現状において、外国人介護人材の雇用を検討する施設では、受入れ態勢をしっかりと整えておくことが求められます。「日本人の離職率が高い施設では外国人も定着しません。賃金だけが問題なのではありません。

ICT導入や業務分担の見直しなどの対策を講じ、国籍に関係なく資格獲得への意欲が生まれるような、働きやすい労働環境をつくる必要があります」「外国人を迎え入れる時の組織的な教育指導体制も重要です。教育担当者への適切なバックアップ態勢がなければ、優秀な職員を失う可能性すらあります」と井口さん。つまり、外国人介護人材を受け入れる態勢を整えることは、既存の職員の労働環境改善にもつながるといえるでしょう。

コストをかけてでも 必要な外国人介護人材

一方で井口さんは別の問題を指摘します。「実際に外国人介護人材を受け入れるとなれば、コストがかかります。法人内での教育指導職員の配置、住まいの確保や家賃補助、日本で長期間働くために必要な、介護福祉士資格取得のための研修などにかかる費用の補助も必要です。それでも外国人介護人材に注目が集まるのは、地方を中心に介護の人材不足が深刻だからです」「外国人人材受入れが国の施策により、飲食関係などで一部頭打ちになりました。国の施策においては将来を見据えて介護人材を確保したい施設だけでなく、外国人にとっても不安を及ぼさないよう留意が必要です」。

介護施設の運営に関わる立場から外国人職員が働く現場を観察し、外国人介護人材受入れの制度設計に関わる中で、介護施設の情報を集めてきたという井口さんは「ほとんどの介護施設の利用者は、外国人職員を好意的に



受け止めています」と強調します。「海を渡ってきてくれた職員さんに、日本のことを教えたり母国の話を聞いたりしてみたい」「子どもや孫のような年代の外国人職員が笑顔で親切にケアしてくれることをありがたく感じる」といった話もよく耳にするとのこと。

他方で来日する外国人の側の意識としては、「アジアの国々では大家族文化の中で、高齢の家族への感謝や思いやりの心が育まれており、加えて介護施設などのシステムがまだ発展していない国も多くあります。家族が介護の役割を担っているため、そこで育った若者が高い問題意識を持って来日しているという現状も、離脱者を生みにくい構造につながっていると考えられます」と井口さん。

ともに高め合える環境を 整えて、定着につなげる

こういった現状において、日本の介護施設はどのような考え方で外国人介護人材を受け入れていけば、定着につなげられるのでしょうか。井口さんは「ケアの心を持って、介護現場の最先端を歩む日本で学び、働きたいと考えている“人”が来てくれるということです。単に足りない“人を補う”という考え方では、日本の将来の介護にも活かせません。まずは今現場で頑張ってくれている職員の労働環境を改善し、日本人も外国人も分け隔て無く、ともに高め合いながら“働き続けたい”と思える環境を整えることこそが重要だと考えています」と話しました。

福祉・介護の現場で「アシスタントワーカー」活躍中!

アシスタントワーカーとは?

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

「働きやすい」をカタチに! アシスタントワーカー導入に向けた取組みが進んでいます

各施設で業務の洗い出しやアンケートの実施、アシスタントワーカーに担ってもらう業務の整理などが進められています。集合研修の後、6月の施設訪問では、アドバイザーとともに現状や課題を確認しながら、施設ごとの取組みについて意見交換を行い、今後の方向性を共有しました。

施設ごとに進め方や着眼点は異なりますが、職員の皆さんの声を取り入れながら、より働きやすい職場環境づくりに向けた具体的な検討が始まっています。今回は、その取組みの一部をご紹介します。

アドバイザー紹介（今年度も継続してご担当いただきます）



株式会社エクセレントケアシステム 執行役員 人材開発部 部長
公益財団法人介護労働安定センター 雇用管理・人材育成コンサルタント **柴垣 竹生氏**

大手生命保険会社勤務後、1999年に介護業界に転じ、上場企業および社会福祉法人において数々の要職を歴任。2019年より現職。教育部門の責任者として本業に携わる傍ら、介護事業マネジメントに関するコンサルティング・講演の実績多数。近著に『いいケアのできる人が最高のリーダーになる方法』がある。

6月の個別訪問



社会福祉法人 枚方療育園

ビアンエトール恭愛
障害者支援施設 第一博愛

〒557-0063
大阪市西成区
南津守1-4-7
☎06-6656-7001



職員を対象にしたアンケートや業務仕分け作業を通して、アシスタントワーカーの役割や業務内容の整理を進められています。また、求人に向けたアイデアも積極的に検討されており、施設全体で新たな人材の受け入れ体制づくりに取り組まれています。



社会福祉法人 枚方療育園

ビアンエトール恭愛
特別養護老人ホーム 山愛

〒557-0063
大阪市西成区
南津守1-4-7
☎06-6656-7001



各フロアの課題や業務内容を丁寧に整理しながら、アシスタントワーカーの業務範囲や役割の明確化を進められています。フロアごとの違いを共有し、モデルとなる取組みを他のフロアへ展開する構想も検討されており、現場の声を生かした導入準備が進められています。



株式会社ニッケ・ケアサービス

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
ニッケととて本町

〒540-0038
大阪市中央区
内淡路町3-1-18
☎06-6809-7925



業務の洗い出しを進める中で、役割分担等を改めて見直し、手書き中心の記録業務の簡素化にも着手されていました。業務を俯瞰することで新たな気づきを得ながら、より効率的で働きやすい職場づくりに向けた取組みが進められています。

お詫びと訂正

『ウェルおおさか6月号』(vol.162) 6ページ掲載の、「令和8年度アシスタントワーカー導入取組み施設のご紹介」において法人名の表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】社会福祉法人ほしの会 ➡ 【正】株式会社ニッケ・ケアサービス

大阪市立総合医療センター

第20回 小児医療センター講演会 **WEB開催**

知っておきたい「周産期医療」のこと

NICUってどんなところ? 赤ちゃんとの「はじめの一步を」を支える

視聴期間 8月**14**日(金)12:00~**28**日(金)12:00

視聴方法

- ①病院のホームページへアクセス [大阪市立総合医療センター](#) **検索**
- ②右の二次元コードからアクセス
- ③下記視聴用URLを直接入力でも可能です▶<http://onl.tw/qDdEWP8>

市民の皆さまに向けた講演です。視聴は無料です。ふるってご視聴ください!



プログラム

- ①お母さんと赤ちゃんの『もしも』を逃さない
一救急から小児科まで、病院丸ごとで守る命のネットワークー 新生児科 部長 田中 裕子
- ②小さく生まれても大丈夫 一早産児医療のいまー 新生児科 副部長 原田 明佳
- ③赤ちゃんの命をつなぐ 一新生児搬送の現場からー 新生児科 医長 岩見 裕子

問合せ

大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 ☎06-6929-1221(代表)

大阪市立十三市民病院 \いきいき健康セミナー/

**受講無料
申込不要**

いつまでも会話を楽しむために

加齢性難聴と補聴器に関する豆知識

言語聴覚士 内山 良則

日時▶9月**15**日(火)14:00~15:00(開場13:30から)

場所▶大阪市立十三市民病院 9Fすかいルーム **その他**▶マスク着用



問い合わせ先

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-12-27

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室 ☎06-6150-8000(代表)



大阪市内の福祉活動の実践報告

来場記念▶大阪市社会福祉研究第48号
おひとり1冊プレゼント

『福祉の今を知る!』同心会社会福祉研究 受賞論文より

**申込み締切
9月9日(水)**

**受講無料
要申込**

日時▶10月**2**日(金)13:30~16:10(受付13:00~13:30)

場所▶大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室(大阪市西成区出城2-5-20)

定員▶60名(社会福祉関係事業所に勤務する方、大阪市内在住・在勤・在学の方/応募多数の場合は抽選)

【第1部 基調講演】

「ケアとして被災者支援を考える」

ー継続する混乱を止めるためにー

大阪公立大学大学院文学研究科 准教授 菅野 拓

【第2部 実践報告】

「大阪市内の福祉活動の実践報告」

実践報告コーディネーター・まとめ
国際医療福祉大学大学院 教授
大阪市立大学 名誉教授

白澤 政和

お申込みはこちら



主催・お問合せ

大阪市社会福祉研修・情報センター ☎06-4392-8201

講座案内

市民向け講座

大阪市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
介護実習講座 入門コース 土曜日クラス(9月) 木曜日クラス(10月)	【土曜日クラス】 9月12日(土) 9月19日(土) 9月26日(土) 14:00~16:00 【水曜日クラス】 10月1日(木) 10月8日(木) 10月22日(木) 10:00~12:00	大阪市内に在住・在勤・在学の方で、高齢者の介護に関心があり、指定された日程を休まず受講できる方 ※現在介護のお仕事をされている方は、ご受講いただけません	介護福祉士	初めて介護する方を対象に、家庭での介護の知識や技術を体験いただき、介護への関心や理解を深めます。 【テーマ】 2クラス共通 1日目 介護保険制度の説明、ベッド上での体位変換、車いすの使用方法 2日目 高齢者の心と身体の変化、食生活、口腔ケアと口腔体操、着脱介助 3日目 認知症の理解、清潔保持の介護、足浴の方法	定員:20人(先着順) 受講料:500円(資料代) ※受講初日に現金で申し受け ます

福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
よこいと座談会 (中堅職員)	8月18日(火) 13:30~17:00	大阪市内の社会福祉施設・事業所に勤務する入職後おおむね3~5年程度の職員	関西学院短期大学 准教授 立花 直樹 四天王寺大学 准教授 吉田 祐一郎	日々の業務や職場の人間関係、後輩指導など、中堅職員としての課題や悩みを共有し、同じ立場の職員同士で情報交換を行いながら、横のつながりを広げます。	定員:30人(先着順) 受講料:無料 締切:8月5日(水)
QOLを高める活動! アクティビティ	9月10日(木) 10:00~16:00	大阪市内の社会福祉施設・事業所で高齢者等の介護に従事する職員	特定非営利活動法人 キャンピズ 代表理事 桃山学院大学 兼任講師 水流 寛二	アクティビティの意味や理念などを座学で学び、具体的な実践方法の紹介や体を動かしてできる実技演習などを行います。さらに、ケアとしてのレクリエーションの知識・技術を身に付け、利用者の喜び・生きがい・安心感につながるような援助方法について演習を中心に学びます。	定員:30人 受講料:3,000円 締切:8月6日(木)
福祉職員キャリアパス 対応生涯研修課程 (初任者コース)	9月28日(月) 10月26日(月) 11月5日(木) 10:00~17:00	大阪市内の社会福祉施設・事業所に勤務する新卒入職後または他業界から福祉現場へ入職後3年以内の職員で、3日間出席が可能な方	京都女子大学 心理共生学部 心理共生学科 教授 橋本 有理子 大阪キリスト教短期大学 幼児教育学科 講師 西川 友理	チームの一員として求められる基本的な役割や姿勢を習得するとともに、福祉職員としての専門性や組織における役割を理解し、今後のキャリアパスの方向性について学びます。	定員:55人 受講料:9,000円+ テキスト代1,000円 締切:8月13日(木)
介護主任・リーダー 職員研修	9月29日(火) 10月14日(水) 10:00~16:30	大阪市内の社会福祉施設・事業所で介護主任・リーダーとして勤務している職員	公益社団法人 大阪介護福祉士会	介護主任・リーダー職員として必要な基礎知識を確認するとともに、多様化する介護サービスの実態に対応できるよう、事例検討などにより実践的に学びます。	定員:20人 受講料:6,000円 締切:8月31日(月)
よこいと座談会 (管理職員・チーム リーダー)	9月30日(水) 13:30~16:00	大阪市内の社会福祉施設・事業所に勤務する管理職、チームリーダー、それらの役割を担うことが想定される職員	ふくしと教育の実践 研究所 SOLA 主宰 新崎 国広	マネジメントや人材育成、職場の方向づけなど、管理職・リーダーとしての課題を共有し、同じ立場の職員同士で情報交換を行いながら、横のつながりを広げます。	定員:36人(先着順) 受講料:無料 締切:9月16日(水)
リスクマネジメント研修 (管理職員・高齢分野)	10月16日(金) 10:00~16:30	大阪市内の高齢分野の社会福祉施設・事業所に勤務する管理職員 (施設長の他、リーダー、主任も含む)	医療法人明成会 社会福祉法人喜成会 理事長 紀伊クリニック 介護老人保健施設 紀伊の里 施設長 山野 雅弘	主に高齢分野の管理職員に求められるリスクマネジメントの意義と基本を理解するとともに、福祉現場が活性化し、利用者のサービス向上が図れるよう、クレーム対応、事故予防対策、職員育成などの留意しておかなくてはならないポイントなどを学びます。	定員:36人 受講料:3,000円 締切:9月15日(火)
心をつなぐ コミュニケーション研修	10月20日(火) 10月27日(火) 10:00~16:30	大阪市内の社会福祉施設・事業所に勤務する職員で、2日間とも研修に参加できる方	TEAM-EXE 代表 パフォーマンスアップ コーチ ナカムラ トモコ	1日目は相手の話を上手に「聴く」方法、2日目は相手に上手に「伝える」方法を中心に、あらゆる人間関係において信頼関係を築くための、実践的なコミュニケーション技術を学ぶ。	定員:54人 受講料:6,000円 締切:9月17日(木)

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

申込み・ 問合せ先

研修の申込み方法▶当センターのホームページからお申込みください

※市民向け講座のみ、電話での申込みも受け付けます

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp





図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報



図書紹介

就労選択支援ガイドブック —就労アセスメントの手法と支援—

前原 和明 編集 中央法規出版
2026年

「就労選択支援」に携わる支援者のためのテキスト。障害のある人の希望や適正をふまえた就労先・働き方を選択できるように支援するための就労アセスメントの手法、留意点などを紹介する。



CD付き! 機能向上のための音楽レクリエーション なつかしの歌で健康体操&脳トレ (レクリエブックス)

山崎 律子 監修 ほか 世界文化社
2026年

高齢者に人気の曲を使った、介護現場で役立つ体操&レクが詰まった一冊。

●高齢者に人気の童謡、ヒット曲など17曲のピアノ伴奏のCD付き! ●高齢者が歌いやすいキーとテンポでレクがしやすい! ●音楽体操、指体操など、すべてCDの音楽に合わせてできる! ●いすに座ったまま取り組めて、介護予防に使いやすい。



図解でわかる サービス提供責任者のお仕事

内田 泉 編集 ほか 中央法規出版
2026年

サービス提供責任者の仕事内容から関連する法制度まで、図解でわかりやすく解説する入門書。事業所の管理者から、すでに現任として実務を行っている人や、これから目指す人まで、訪問介護事業所に勤務するあらゆる人におすすめの1冊。



DVD紹介

多職種連携における形態別高齢者ケアの実際 第1巻

東京シネ・ビデオ 23分 2024年

多職種連携チームケアで高齢者のADL向上を目指す

～98歳いつまでも在宅で暮らす喜び～

●訪問診療の様子 ●悠翔会 ●訪問リハビリの様子 ●チームケア連携ノート ●訪問看護の様子 ●訪問入浴の様子 ●デイサービスの様子など収録。



テレビ回想法 新・懐かしい話 柴又散歩①『ふるさと自慢の巻』

シルバーチャンネル 76分 2025年

テレビ回想法は、映像を用いて気軽に「回想法」を行っていただくための「回想法支援ツール」。映画『男はつらいよ』シリーズの舞台として知られる、東京都葛飾区柴又を訪れ、帝釈天参道や柴又帝釈天を散策。映像を参考に、懐かしい話に花を咲かせましょう!



35年目のラブレター

東映ビデオ 119分 2026年

戦時中に生まれて十分な教育をうけることができず、文字の読み書きができない65歳の西畑保。やがて結婚するが、その幸せを手放したくないばかりに、読み書きできないことを彼女に打ち明けられずにいたが…定年退職を機に夜間中学に通い始める。



募集!! あなたの周りに眠っている古本はありませんか?

8月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集締切/8月20日(木)
- 受付場所/大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所/2階 図書室



リサイクルブックフェア

「リサイクルブックコーナー」の古本を無料でお持ち帰りいただけます!

- 開催期間/8月21日(金) 9:00 ~ 27日(木) 21:00

毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!



大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・雑誌などを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)



開室時間/月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00
金曜日 9:30～19:00
休室日/日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始
問合せ先/☎06-4392-8233



新着情報はこちら▲

生活習慣病予防のため 特定健診を受けましょう!

大阪市国民健康保険では高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、特定健診を実施しています。

私たちの健康をおびやかす、心臓病や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は、ほとんど気がつかないうちに進行するので、身体の状態を確認するために毎年の健診が欠かせません。毎年健診を受け検査値の変化を見ていくことで、しのび寄る生活習慣病に気づき、早めに対応できるのです。

対象となる方には「受診券」をお送りしていますので、ぜひ特定健診を受けましょう!



対象者 40～74歳の大阪市国民健康保険被保険者
(来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)

受診場所 ① 府内取扱医療機関
② 各区保健福祉センターや地域の小学校等の集団健診会場

**検査内容
(基本的な項目)** 身長・体重・腹囲・診察・血圧測定・血液検査(脂質・肝機能・血糖・腎機能)・尿検査

費用 無料

必要な物 受診券・マイナ保険証または資格確認書・個人票

*受診券がお手元に届いていない場合や紛失された場合は、お住まいの区役所の保険年金業務担当窓口で再発行できます。

*75歳以上の方は、後期高齢者医療健康診査を受けましょう。

問合せ ▶ 大阪市福祉局保険年金課(保健事業グループ)
☎06-6208-9876 FAX06-6202-4156

今月の自助具

たまご型グリップ(3Dプリント自助具)

主な適応疾患・対象者 ▶ 握力が弱く・手指に変形・拘縮がある人

〈機能・特徴〉

- 変形・拘縮した手指でも握ることができる形状
- スプーン・フォークの差し替えがすぐにできる
- ゴム系のTPU材なので手にしっとりなじむ

〈使い方〉

- たまご型のグリップ部を手のひらに押し当て、指で挟み、包み込むように握る
- スプーンやフォークを横から出ている突起部の穴に差し込んで使う



資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋
☎FAX06-4981-8492(月・水・金 10:00～15:00)
NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活

応援グッズ

シャワーチェア

軽いだけではない
使いやすいさ



◆折りたたみシャワーベンチ A-S/A-Sフィット

コンパクトながらゆったり座れる設計で、心地よさと省スペース収納を両立した折りたたみシャワーベンチ。軽量で扱いやすく、移動や収納もスムーズ。お手入れしやすいクリーンデザインです。

利便性に優れた
シャワーチェア



◆折りたたみシャワーチェア 楽湯DX

シャワー受け付きで使いやすく、跳ね上げ式ひび掛けで身体が洗いやすい折りたたみシャワーチェア。背もたれの高さを2段階に調節でき、収納時も自立する便利な設計です。

ゆったり座れる
モダンなデザイン



◆ユニプラス コンパクトシャワーチェア (ライトタイプ)

従来品から0.5～0.7kgの軽量化に成功。持ち運びやすく、介助しながらのシャワーチェアの移動など、介助者の動作の負担を軽減します。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会
介護情報・研修センター福祉用具展示場
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15
大阪府社会福祉会館1階

☎・FAX06-6763-1480
HP<https://kansil.jp>

終活相談事業「将来あんしんエール」

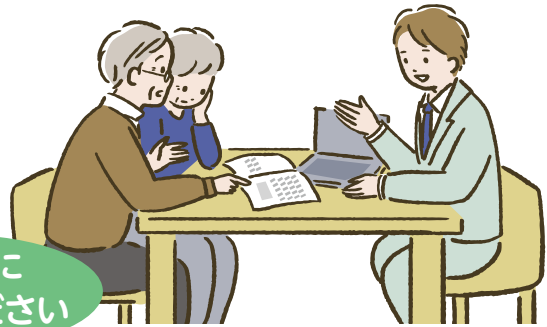
7月1日からスタート!

“終活”とは、人生の終末を迎えた時に、ご自身の望みがかなえられるよう、元気なうちに備えを行っていく活動です。
“終活”について知りたい、検討してみたい方は、ぜひご相談ください。

どんな相談ができるの?

- ◆身寄りがいないので先のことが心配
- ◆もしもの時の備えって何をすればいいの?
- ◆判断ができなくなった時の備えってどのようなこと?
- ◆財産の相続の方法は自分で決めておきたい
- ◆遺言書は作っておいた方がいい?
- ◆自分らしい「尊厳のある最期」を迎えたい

お気軽に
ご相談ください



- 対象者／大阪市内居住者で、“終活”に関心がある人
- 相談方法／大阪市立社会福祉センター(天王寺区東高津町12番10号)への来所・面談。
電話・FAXによる予約が必要です。費用は無料です。
- 相談日時／平日10:00～12:00、13:00～16:00(原則1時間)
- 予約受付・問合せ先／受付時間は平日9:00～17:00
大阪市社会福祉協議会 福祉部 ☎06(4303)4180 FAX06(6765)5607

詳細はHPを
ご覧ください↓



どんな広告を
作ればいいのか
悩む...



内製している
チラシの評判が
よくない...

何年も使っている
冊子を
新しくしたい!



クリエイティブ関連のお悩み解決は
「ウェルおおさか」も制作している
アド・エモンにぜひお任せください!!

チラシ

パンフレット

小冊子

カタログ

会社案内

各種PRツール

取材・撮影

印刷

アニメーション動画

and more...



納得のご予算でお客様のイメージを
トータルでカタチにします!!

TOTAL CREATION
AD-EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL 06-6358-1010 FAX 06-6358-1011 info@ad-emon.com

http://www.ad-emon.com



〔広告〕

公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 主催 認知症介助士セミナー

認知症の人への接し方を学びましょう

POINT
1

認知症について正しい知識が身につく
適切な対応ができるようになるだけでなく、
自分自身の認知症予防にもつながります。

POINT
2

具体的な解決方法がわかる
実際に起こった体験談や豊富な事例から学ぶため、
いざという時の対応に役立ちます。

POINT
3

認知症の人をみんなで支える方法がわかる
認知症の人を含め、
誰もが安心して暮らせる社会づくりについて考えます。

開催日程とお申込み

日程:9月14日(月)・10月5日(月):大阪会場

時間:10:00～16:00(1時間休憩有)※受験しない方は15時まで

認知症介助士検定試験に合格することが資格取得の条件です

※オススメ!セミナーと受験を1日で!

認知症介助士セミナー
17,600円

検定試験受験
3,630円

または 検定試験受験
3,630円

★詳しくは当機構のホームページ、またはお電話にてお問い合わせください。

●お問い合わせ



公益財団法人 日本ケアフィット共育機構

そっと、さっと、あんしんを。

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋6F

☎06-6251-6101

FAX06-6251-6102

お申し込み▶



お問合せ▶



〔広告〕

制作協力: (株) アド・エモン

山口 礼仁さん(令和7年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 高校生の部 優秀賞)